

吉川化成 株式会社

優れた提案力を持つ
精密射出成形部品メーカー海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
量産
対応

医療機器事業の中核を占める「血管造影用注射筒」

業務
内容
オプトからメディカルまで
幅広い業界で活躍

精密射出成形部品メーカーとして化成分野、オプト分野、メディカル・ヘルスケア分野の事業を行うほか、自社商品分野として建築資材を展開する。

化成分野ではトナーカートリッジなどOA機器向け部品、オプト分野ではプロジェクター用レンズや自動車用LED（発光ダイオード）ヘッドライト向けレンズなど、メディカル・ヘルスケア分野では各種医療機器やパーツなどを展開する。自社製品の床下収納庫は国内トップシェアで約35%を占める。現場で施工しやすいよう、開封しやすい包装にこだわったのが好評の秘訣。

強み
顧客への提案力に定評

確かな技術力に基づいた、顧客への提案力に定評がある。2部品を組み合わせた一体成形品を提案し顧客のコスト削減に貢献するなど、提案が評価され大手家電メーカーのサプライヤー賞に4年連続で入賞している。技術が成熟した樹脂成形分野でサプライヤー賞を取る企業は少ないが、同社は自らの受注減少にもつながるような大胆な改善策を提案し、顧客の信頼を勝ち取っている。

大阪工場（大阪市鶴見区）、静岡工場（静岡県袋井市）、タイとマレーシア子会社にクリーンルームを持つ。医療機器の品質管理システムの国際規格「ISO13485」を大阪工場、静岡工場、マレーシアアクリン工場で取得し、医療機器製造販売許可、医療

機器製造業許可を取得しているほか、光学レンズ生産に必要な精密検査機器を持つなど、高度なもののづくりに対応できる。

地元を重視
地域と共に発展へ

吉川健太常務は「地元と共に発展して行きたい」と、意気込みを語る。その一環として、地元工業高校の卒業生の採用に意欲を見せる。大阪以外の各工場でも周辺住民を積極的に採用。また大阪市など行政からの依頼で、近隣小学校へのものづくり講義に出張している。

「地域貢献するうちに社員も自社について学び、社内の横のつながりも強くなる」と、間接効果を期待する。



大阪工場（大阪市鶴見区）のクリーンルーム。ここで医療機器が作られている

今後の展望
自動車用LEDヘッドライト、医療機器など成長の種

平成26年から自動車用LEDヘッドライト向けレンズの生産を始めた。今後の採用車種増加が期待され、受注拡大が見込まれる。現状、レンズはタイ工場で生産しているが、将来は米国生産も検討している。

医療機器事業は、現在は相手先ブランド製品の製造元として活躍しており、自社ブランドは持たない。しかし、2026年までに自社ブランド品を発売したいという目標を持つ。そのため医療機器商社などと提携し、自社ブランド品発売につなげたい考えだ。

COMPANY PROFILE

吉川化成株式会社

大阪26

ISO 9001

ISO 13485

ISO 14001

当社の歴史

創業間もない頃に、洗濯機の洗濯槽で従来金属製だったものの樹脂化に成功し、家電メーカーから評価されたことがきっかけで成長しました。平成4年に香港子会社を設立したのを皮切りに、中国やマレーシア、タイなど海外拠点を次々と開設。顧客の海外進出に対応できる体制を整えました。平成14年にメディカル事業部を発足し、医療機器メーカーとしても活躍を開始しています。

プラスチックのことなら必ずアイデアを形にするまで挑戦し、ワールドワイドでの安定供給を約束します。

代表取締役社長 吉川 秀朗さん



■主な事業内容

化成品、オプト、メディカル・ヘルスケア、建築資材などの精密射出成型品を製造

■主な取引先（納入先）

家電メーカー、自動車メーカー、医療機器メーカー

住所／〒538-0052
大阪市鶴見区横堤
5-6-34
TEL／06-6912-7291
FAX／06-6913-3730
創業／昭和21年10月
設立／昭和25年2月
資本金／1億8,000万円
従業員／302名

<http://www.ypc-g.com>